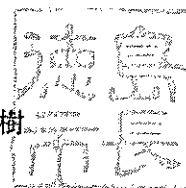


道建発第58号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

徳島市長 原 秀樹



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）  
（対平成19年4月2日国道企第114号）

貴職におかれましては、日頃から本市の道路整備及び本市道路行政に対してご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、依然として国、地方とも極めて厳しい財政状況の中、引き続き、重点化、効率化を進め、本市道路整備促進のため、なお一層のご尽力賜りますようお願いするとともに、国の道路整備の中期的な計画の策定に際しては、次のことに留意のうえ、計画されるようお願いいたします。

（本市の概要）

本市は、四国一の大河吉野川をはじめ、大小138の河川が市内を縦横に流れ、中心市街地には城山を中心として新町川・助任川に囲まれたひょうたん島があるなど、他都市に類をみない「水」とともに発展してきた都市です。

現在、平成28年を目標年次とする今後新たな総合計画の策定に取り組んでいるところであり、計画の土台となる本市の将来像を「心おどる水都・とくしま」と定め、そのまちづくりを実現する基本理念は「元気とくしま」・「安心とくしま」・「信頼とくしま」であります。

（意見等）

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 主要道路の整備

四国の広域交流の柱となる高速道路網「四国8の字ネットワーク」が急ピッチで整備されつつあり、今後、市内への流入が予想されますが、本市の中心部においては、道路整備の遅れ等から、依然として交通渋滞が生じており、多大な時間を損失しています。こうした事態を解消するため、放射・環状道路はもとより、その他の主要道路の整備を急ぐ必要があります。

(2) 連続立体交差事業の推進

本市の中心市街地を走る鉄道は、市街地を分断し、踏切における慢性的な交通渋滞を発生させ、また踏切事故の危険性を伴うなど都市機能に大きな影響を及ぼしています。

このような状況を総合的に解決し、中心市街地の活性化、ユニバーサルなまちづくりのため、平成18年度に着工準備採択を受けた徳島市内の連続立体交差事業を推進する必要があります。

(3) 橋梁耐震補強

災害時において、避難輸送路を確保することは、避難・救助、物資の供給、諸施設の復旧等の基本となるものであります。本市においては、多くの河川があり、緊急輸送路確保のため、橋梁の耐震補強対策は不可欠のものであり、早期に整備を進める必要があります。

(4) 快適な中心市街地の形成

安全・快適で美しい都市空間を形成するため、徳島駅を中心とした特定経路のバリアフリー歩行空間の整備を進める一方、中心市街地の電線類地中化工事を積極的に推進する必要があります。

2 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

(1) 現行の道路特定財源水準の安定的確保と重点的な地方への配分

地方交付税の抑制等による厳しい財政環境下ではありますが、住民の生命財産を守り、安心・安全で豊かな生活環境を確保するため、特に遅れている地方の道路整備を推進する必要があります。

(2) 地方道路整備臨時交付金の対象範囲（改築・修繕含む）の継続・充実

道路ストックは増加の一途であり、その維持管理、長寿命化等の予算を安定的に確保をお願いします。